



■ 講座内容について

第1講座	保育事業者がいま参入すべき「障がい福祉業界」の動向 株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダー 藤光 孝法 現在、保育事業の経営者が注目を始めている児童発達支援・放課後等デイサービス事業。 その現状を解説いたします。	
第2講座	児童発達支援・放課後等デイサービスの成功モデル事例 ゲスト講師 株式会社 LaLaLand Education 代表取締役 井上 芙美 氏 保育事業から児童発達支援・放課後等デイサービスへの新規参入を果たし、本業の保育を活かした 独自コンセプトの展開に成功している株式会社LaLaLand Educationの成功事例をご紹介します！	
第3講座	児童発達支援・放課後等デイサービス事業成功のポイント 株式会社船井総合研究所 子育て支援部 水上 京日 児童発達支援・放課後等デイサービスの集客・採用・店舗展開の成功ポイントをご紹介します！	
第4講座	本日のまとめ 株式会社船井総合研究所子育て支援部 リーダー 藤光 孝法 今日のセミナーのまとめを解説。明日から取り組むべきことをお伝えいたします。	

■ 開催日時について

全日オンラインでの開催です！ ※各回、同じ内容です。ご都合のよい日時をお選びください。

開催日時

2026年1月21日(水)・23日(金)・2月4日(水)・6日(金)
開催時間：13:00～16:00(ログイン開始：開始時間30分前～)

申込期限

■銀行振込み…開催日6日前まで ■クレジットカード…開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます

金額

■ 一般価格(1名様)

税抜 **20,000** 円(税込22,000 円)

■ 会員価格(1名様)

税抜 **16,000** 円(税込17,600 円)

※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

セミナー参加者特典！無料経営相談のご案内

セミナー終了後、質問や疑問点などに対して個別にお時間を設定させていただきます。
今後の事業展開に向けた具体的な内容もその場で答えさせていただきます！是非お申込みください。



お申込方法

QRコードを読み込みお申込みください！
または船井総研ホームページ (www.funaisoken.co.jp) にある右上の検索マークに
『136480』を入力、検索ください。
本講座はオンライン受講となっております。諸事情により受講いただけない場合がございます。ご了承ください。
※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。

船井総研セミナー事務局 E-mail **seminar271@funaisoken.co.jp**

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。
また、お問い合わせの際は「お問い合わせ NO とセミナータイトル」をお伝えください。

お申込み HP URL **https://www.funaisoken.co.jp/seminar/136480**

【年末年始のお知らせ】 2025 年 12 月 26 日正午～2026 年 1 月 6 日まで
※休業期間中は電話が繋がらなくなっております。※Web からのお問い合わせには 1 月 7 日以降順次ご回答させていただきます。
※なお、受講申込は Web より 24 時間受け付けております。ご不便をお掛けいたしますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。



保育事業者だからこそ
今年中に！

児童発達支援・
放課後等デイサービスを
始めるべき3つの理由



ゲスト講師のご紹介

株式会社Lalaland Education
代表取締役 井上 芙美氏

**認可保育園6園+企業主導型保育園1園を
運営するLaLaLand Education様が取り組む
これからの保育園の在り方**

①一人ひとりに寄り添いたいが、集団保育の中ではそろそろ限界
②「本当にその子のため」の一貫した支援を行いたい
③「保育」を軸に多角化・多機能化したい

これらのお悩みの解決策は中面にて！



開催日時

2026年1月21日(水)・23日(金)・2月4日(水)・6日(金)
開催時間：13:00～16:00(ログイン開始：開始時間30分前～)

※講座内容は同じです。
ご都合のよい日時を選んでいただきお申込みください。

園向け児童発達支援・放課後等デイサービス新規参入セミナー

お問い合わせ No. **S136480**

主催  サステナブルグロースカンパニーをもっと。 株式会社船井総合研究所
〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号
東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー 35 階

当社ホームページからお申込みいただけます。
(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索マークに [お問い合わせ No.] を入力してください) **136480** 🔍

少子化 × 園児減少 × 職員不足

保育園経営が「持続困難」になる前に、取るべき選択とは

経営の土台を固めるために、貴園の未来をかけた今こそ考えるべき選択。

我が国では、子どもの数が43年連続で減少し、少子化が深刻なスピードで進行しています。特に地方部では定員割れや統廃合の危機に直面し、都市部でも職員不足が深刻化しています。私たちは皆、日々の採用活動に追われる中で、「このままでは園の経営の土台が揺らぐのではないか」という、拭えない危機感を抱いています。



保育園・子ども園を運営する経営者のみなさまへ。 このような「現場の課題」に直面していませんか？

①一人ひとりに寄り添いたいが、集団保育の中ではそろそろ限界

近年、「気になる子」と呼ばれる、発達の特性を持つお子様がクラスに増えているという肌感覚はありませんでしょうか。どのような個性を持つお子様にも寄り添い、力を伸ばしたいと願うのが、保育事業者様としての理想かと思います。しかし、現在の職員配置基準のもと、集団生活を中心とする園の運営の中で、個別対応にはどうしても限界が生じてしまいます。特に、午睡や活動中に手厚いフォローが必要な児童がいることで、担任の先生方の心身の負担が増え、クラス全体をまとめることに苦心されているのではないのでしょうか。

②「本当にその子のため」の一貫した支援を行いたい

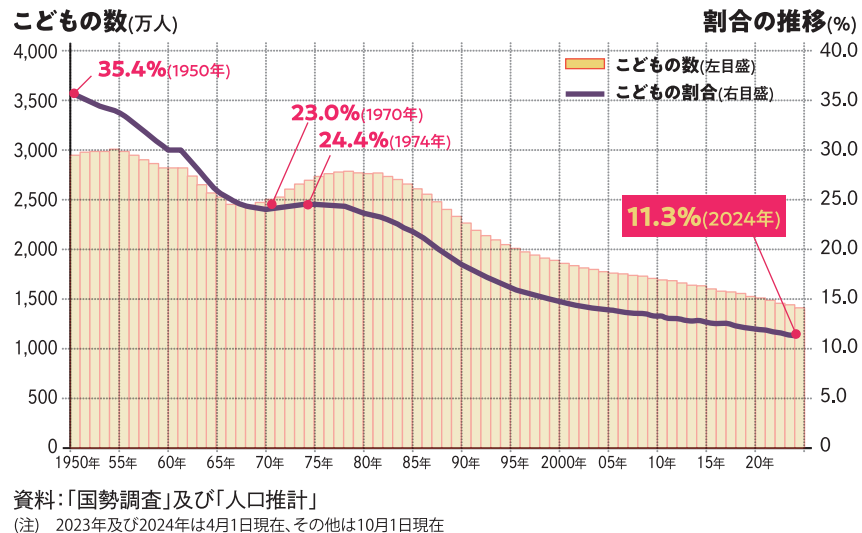
在園中に、外部の児童発達支援事業所に通うお子様が aumentando いる現状もあるかと思います。保護者様は、その都度送迎の時間を捻出し、大きな負担を抱えています。また、私たち保育の現場で日常的に見ているお子様の姿と、外部施設での限られた時間での様子に「ズレ」を感じることはありませんか。最も長くお子様の成長を見守っている保育事業者様だからこそ、「もっと一貫性のある支援を届けたい」「卒園後も適切なフォローを続けたい」という強い責任感と、もどかしい想いがあるのではないのでしょうか。



③「保育」を軸に多角化・多機能化したい

少子化や地域ニーズの変化が加速する中、今後も「選ばれ続ける法人」として確立していくためには、地域の子育て支援の拠点として、事業の多機能化・多角化が必要だと感じているはずです。園の強みを活かし、児童発達支援へ参入することは、そのための最も有効な一手です。しかし、慣れない福祉分野への参入は、行政手続き、収支シミュレーション、専門人材の採用など、「どこから手を付ければ良いか分からない」という大きな不安を伴います。その「最初の一步」を、どなたに相談すべきか悩まれているのではないのでしょうか。

こどもの数及び割合の推移



児童発達支援参入は、 貴園の「理念」と「経営」を 好循環させる「未来投資」です。

船井総合研究所がお勧めするのは、単なる多角化ではなく、既存事業の弱点を補強し、法人全体を持続的に成長させるための「戦略的なシステム構築」なのです。

参入すべき理由 01 既存事業を活かし、堅実に参入することが可能

初期投資リスクを最小限に抑え、堅実に今すぐ始められる。

既存の遊休資産を最大限活用

福祉事業だからといって、新たに物件を探したり、多額の初期投資を頑張る必要はありません。

既存の園内の空き教室や遊休スペース、備品を最大限に活用でき、初期投資のリスクを大幅に抑え、堅実かつスムーズに事業をスタートできます。

参入ハードルを最小限に抑えたこの手法こそが、地域貢献を真剣に考える園経営者様にとって最適な最初の一步です。

参入すべき理由 02 既存事業を活かし、堅実に参入することが可能

理念の専門的实现

貴園が大切にしてきた理念や考え方を、より専門的な形で地域のために活かす活動です。園内や近隣で児童発達支援を行うことは、地域で求められるインクルーシブ保育の実現に直結します。

現場の課題解決と客層獲得

園内で支援が必要なお子様がいらっしゃる場合、専門的な児童発達支援事業を行うことでスムーズなサポートに繋げることが可能です。

少子化の中で幅広い客層の取り込みも可能となり、地域での存在価値をさらに高められます。

参入すべき理由 03 既存事業を活かし、堅実に参入することが可能

○クラス担任の負担が軽減され、理想の保育が実現できる環境へ

個別支援が必要なお子様への対応は、先生方にとって負担となっているという声がよくございます。児童発達支援の併設・連携により、そうしたお子様は専門的な療育を受けられ、担任の先生方のフォロー業務は大きく軽減されます。先生方は本来の保育活動に集中でき、保育の質を大きく高めることが可能になります。



○保育の経験が活きる、新しいキャリアパスと「専門家」としてのやりがい

「子どもと深く関わりたい」という先生方の熱意は、児童発達支援という新しい活躍の場で実現します。これまでの保育経験は、児童発達管理責任者や児童指導員といった多様な専門職として、障がい福祉という新たな分野で最大限に活かせるのです。職員に「個別支援のプロ」としての自信と、法人内での多様なキャリアパスを提供し、定着率向上と法人活性化に貢献します。



保育事業から参入し、 地域に愛される施設を実現！ 株式会社LaLaLand Education の成功の秘訣を徹底解説！

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所 アトリエGiftのご紹介

事業内容

DETAILS

株式会社LaLaLand Educationは、まさに貴園と同じ「保育」を土台に成長してきた企業です。神奈川県横須賀市で、保育・学童機能付きの英語教育を実践。2013年の立ち上げ以来、バイリンガルスクール、認可保育園、企業主導型保育園などを展開。

理念

PHILOSOPHY

LaLaLand保育園で毎日活躍する主人公は、バイタリティーとファンタジーを持った子どもたち。一瞬一瞬を大切に、全力で“あそぶ”ことで、子どもたちは楽しい未来を創造していきます。
そのサポートは、オトナたちが「本気」で「全力」で取り組みます。
子どもの“あそぶ”を全力でサポートする、それがLaLaLandの想いです。

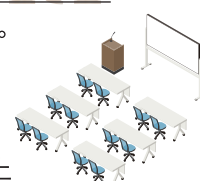


ロゴマーク



これまでの事業展開

- 2013年** 神奈川県横須賀市でバイリンガルスクールを立ち上げる。利用者3名の状態からスタート。
- 2015年** バイリンガルスクールの2施設目をオープン。
- 2017年** 利用者総数が200家庭以上となり、新拠点へ移行。
逗子、戸塚にて認可保育園を開園。2020年・2021年には認可保育園ララランド井土
- 2021年** ケ谷、ララランド大倉山、企業主導型保育園も展開。
- 2022年** 横浜市戸塚区に1号店となるアトリエGiftを開所定員10名の事業所で、
わずか4ヵ月で30名超の児童を集客。2事業所目となるアトリエGift Little
を開所。
さらなる事業所展開を目指して活動を続けている。



HISTORY

代表取締役 井上 芙美氏に 聞いた成功の秘訣



特別インタビューについて

インタビュー 株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダー 藤光 孝法

保育業界から障がい児支援の領域へと進出し、横浜市を中心に児童発達支援・放課後等デイサービス事業を展開されている株式会社LaLaLand Education。どのように障がい福祉事業と出会い、立ち上げ、成功に導かれたのでしょうか？今回は、代表取締役の井上芙美氏を特別ゲストとしてお招きし、インタビューを行いました。

当時抱えていた課題

藤光: 児童発達支援・放課後等デイサービスをご存じになる前、保育事業を運営される中で、なにか具体的な課題があったのでしょうか？

井上氏: 認可保育園、認可外保育園共に、現場からグレーゾーンの子どもたちの対応の悩みを聞くことが多かったのです。クラス運営がうまくいかない、大好きなクラスの子どもたちの中でやはり集団について来られない子がいて、保育者も心を痛めていることが多かったです。ポジティブな課題解決が必要だと当時感じていました。

児童発達支援・放課後等デイサービスとの出会い

藤光: 児童発達支援・放課後等デイサービスについては、どのようなきっかけでご存じになりましたか？

井上氏: そのような課題を感じていたところ、放課後等デイサービス開設のセミナーのお知らせが届くようになり、近隣に施設が多く出来始めました。それに、運営する認可保育園で、療育手帳を持った子どもたちが通ってくれていることもあり。インターナショナルスクールに通っている外国人の子どもたちの多くが、何らかの療育サービスを当たり前のようについていて、隠すこともなく身近なサポートとして利用しているのを見てきたので、そのうち日本でもそういう時代が来るのではないかと考えていました。

療育内容について心がけたこと

藤光: そうだったんですね。とはいえ、初めて取り組まれる事業です。サービス内容、いわゆる「療育内容」を作るのは大変だったのではないかと思います。療育内容どのようにして作られたのでしょうか？

井上氏: そうですね。初めてでしたので時間は掛かりましたが、保育事業を運営していた頃からグループ全体で大切にしていた、『意思』や『個性』を大切にすることを療育にも取り入れました。一人ひとりの特性・個性を大切にすることは既存の児童発達支援・放課後等デイサービスでも皆取り組んでいる内容なので、差別化を図るために、療育内容に英語を導入しました。グループ全体でも外国人との交流や英語を導入していますが、一貫して、英語教室・英会話教室で習う英語とは一線を画すように心がけています。

藤光: 具体的にどのような点が一線を画するポイントなのでしょう？

井上氏: 子どもたちには、大人にはない特別な能力が備わっていて、大人のようにわからないと前に進めないなんてことはないんです。わからなくても頭の中にある無限大の想像力を駆使して、言葉をつないでいき、無意識でつないだ言葉は、子どもたちの心のなかに残り、言葉という力になるという信念があり、より自然に英語に触れ合えるようにしています。療育のプログラムに外国人の先生と一緒に取り組むことで、英語やグローバルマインドを身につけていけるようにしています。

藤光: 英語を全てを理解し、使いこなせるようになるということだけをゴールとせず、子どもだからこそ持っている感性を活かすことで、より自然に英語に親しめる環境作りを行われているということですね。

事業開始後の様子

井上氏: 英語や外国人の先生との交流は、保護者からもすごく反響があります。また、体験活動も好評。考え方に共鳴してくれる利用者、スタッフもすごく多い。グループの保育園にも相談を受けるために回ったり、困っていることがあれば助けられるような支援も導入しており、**既存の園からの評判も良い**ですね。**定員10名の施設ですが、利用者数はすでに30名を超えていて、キャンセル待ちも出てきています。**

業界への想い

井上氏: 海外では、「障がい」のことを「特性」、その人の個性と捉えてもっと大らかに過ごさせているように感じます。たくさんの方が何らかの療育をもっと身近に、気負いなく、当たり前のように受けられる社会になるといいなと感じています。英語教室や英会話教室で行う英語とは違うアプローチ方法を取り入れていると表現しましたが、「勉強」というよりも、**英語や外国人、世界が身近に感じられるような方法をしっかり定着**させていきたいと思います。

藤光: 障がいのある方は、学生のうちに十分なトレーニングを積めないまま大人になってしまい、大幅に制限されてしまうことが多いです。**幼いうちから英語を身近に感じられたら、たとえ必ずしも英語を使うような職に就かずとも、将来的にも役立つ大きな武器を手にする**ことにもなりますね。

今後の展開について

井上氏: 海外では、「障がい」のことを「特性」、その人の個性と捉えてもっと大らかに過ごさせているように感じます。たくさんの方が、**療育をもっと身近に、気負いなく、当たり前のように受けられる社会**になるといいなと感じています。今後は、**自園やグループ内だけでなく、近隣や他園の支援になるようなこと**もしていきたい。人種や言葉をはじめ、いろいろな違いがあっても**共に喜び、共に成長していく場所**を、この「英語療育」を核に広げていきます。

いかがでしたでしょうか?株式会社LaLaLand Educationは、さまざまな紆余曲折を経ながらも独自の療育を追求された結果、**定員10名のところたった4ヵ月で契約者30名を達成**されました。キャンセル待ち多数の施設を作り上げ、さらに展開を進められています。ここまでお読みいただいた事業者の皆様も、様々な立場の方がいらっしゃると思いますが、どのような場合においても、地域でお困りの児童の方に向けた事業を展開されるうえで成功していただきたい一心でご紹介をさせていただきました。

保育事業者だからこそ抱える、専門性という「壁」

新規参入する上で、確実に集客するための「商品」、つまり「専門的な療育内容」を作ることは必要不可欠です。現在、障がいについての研究と対応策が日夜研究されており、他の事業者も日々療育の研鑽を進めています。残念ながら、これまで皆様が運営されてきた保育園・幼稚園の「運営ノウハウ」を当て込むだけでは通用しません。明確に通用する療育内容の開発には、場合によって1年以上の期間を要します。無尽蔵に時間と資金があるわけではない経営において、ここまで時間を掛けてしまっでは、早期黒字化が立ち行かなくなるリスクがあります。だからこそ、成功実績のあるモデルを「研修」で体得し、最短で事業を立ち上げることが、今、最も重要です。



「新規参入を考えているが、時期や内容は未定」、または「既存事業所の集客力をUPさせたい」という事業者の皆様へ

法人個別の集中研修で、児童発達支援・放課後等デイサービス運営に必要な「専門療育」を導入できるチャンス

「他と差別化できる、商品力のあるサービス内容」を手にする方法その答えは、数百に及ぶコンサルティング事例と成功モデルの掛け合わせにあります



なぜ、レクリエーションや宿題請負では差別化できないのか?

児童発達支援・放課後等デイサービスの業界には、レクリエーションや宿題請負のようなスタイルが増えておりますが、これらは明確な差別化に繋がりにくいのが現実です。船井総合研究所では、「運動学習特化型モデル」など、すぐに導入可能な専門療育モデルの研修先をご用意しております。「**一体何から着手すればよいのか?」「うちの法人には一体何が向いているのか?**」私たち船井総合研究所は、数百に及ぶ立ち上げ・活性化の経験から、貴園が最短で成功し、早期黒字化、そしてスタッフの育成に至るまで、力を入れるべきポイントに専念できるようサポートいたします。本セミナーでは、ご参加いただいた方に限定で「無料経営相談」を承っております。ぜひご活用ください。



最後にコンサルタントから皆様へ

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダー 藤光 孝法

ここまでお読みいただきありがとうございます。

株式会社LaLaLand Educationは、まさに保育事業者としてのご経験と、独自のコンセプトを融合させた結果、短期間で大きな成功を収められました。

皆様のような意欲のある事業者であれば、すぐに実現できるものばかりです。

最短で成功するためには、成功実績のあるモデルを導入し、スピード感をもって結果を出すことです。

それこそが、サービス内容の構築、早期黒字化、そしてスタッフの育成に至るまで、早期に達成するための最も確実な方法です。

今回のセミナーでは「児童発達支援・放課後等デイサービスの成功」を実現するための方法を、皆様と同じ保育業界から、皆様より少し先に事業展開をし、順調に業績アップしているゲスト講師をお招きし、たった約3時間で事業展開のポイントが分かるよう構成しております。



無料経営相談は、本セミナーにご参加いただいた方限定の特典になります。
セミナーをお聞きになり、ぜひご検討ください!